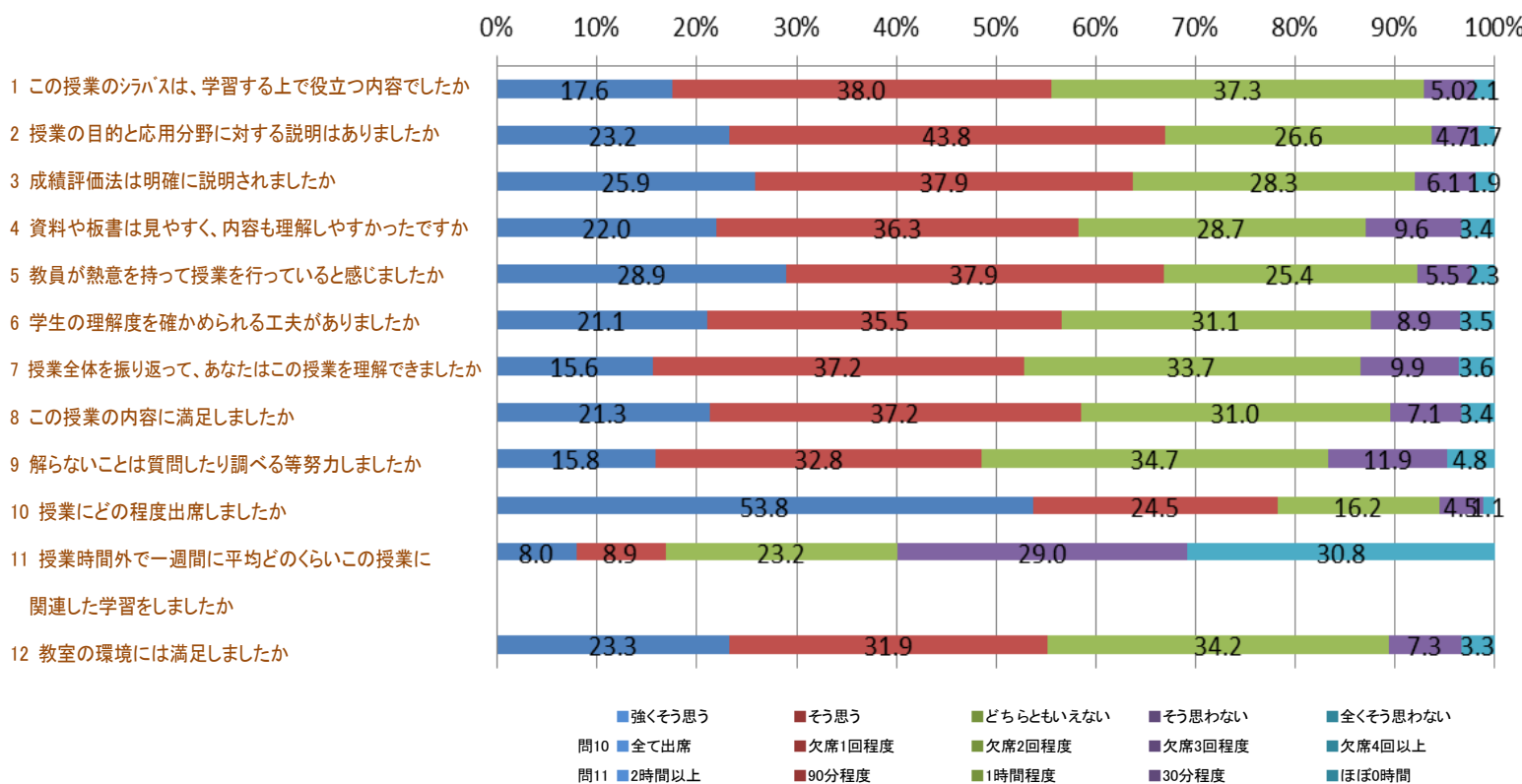


2015 年度後期 授業改善アンケート結果について

システムデザイン学部・研究科FDニュース No. 12

《学生の皆さんへ》システムデザイン学部・研究科では2016年1月4日～2月5日の期間、学部と研究科で後期に開講された講義科目を対象に授業改善アンケートを実施しました。今回も多く学生の皆さんに回答していただきました。ご協力ありがとうございました。アンケートの集計ができましたので、その集計結果の概略をお知らせします。詳しくはシステムデザイン学部 HP に掲載されています。そちらもご覧ください。

システムデザイン学部(対象授業科目数 89 のうち 70 科目からの回答)



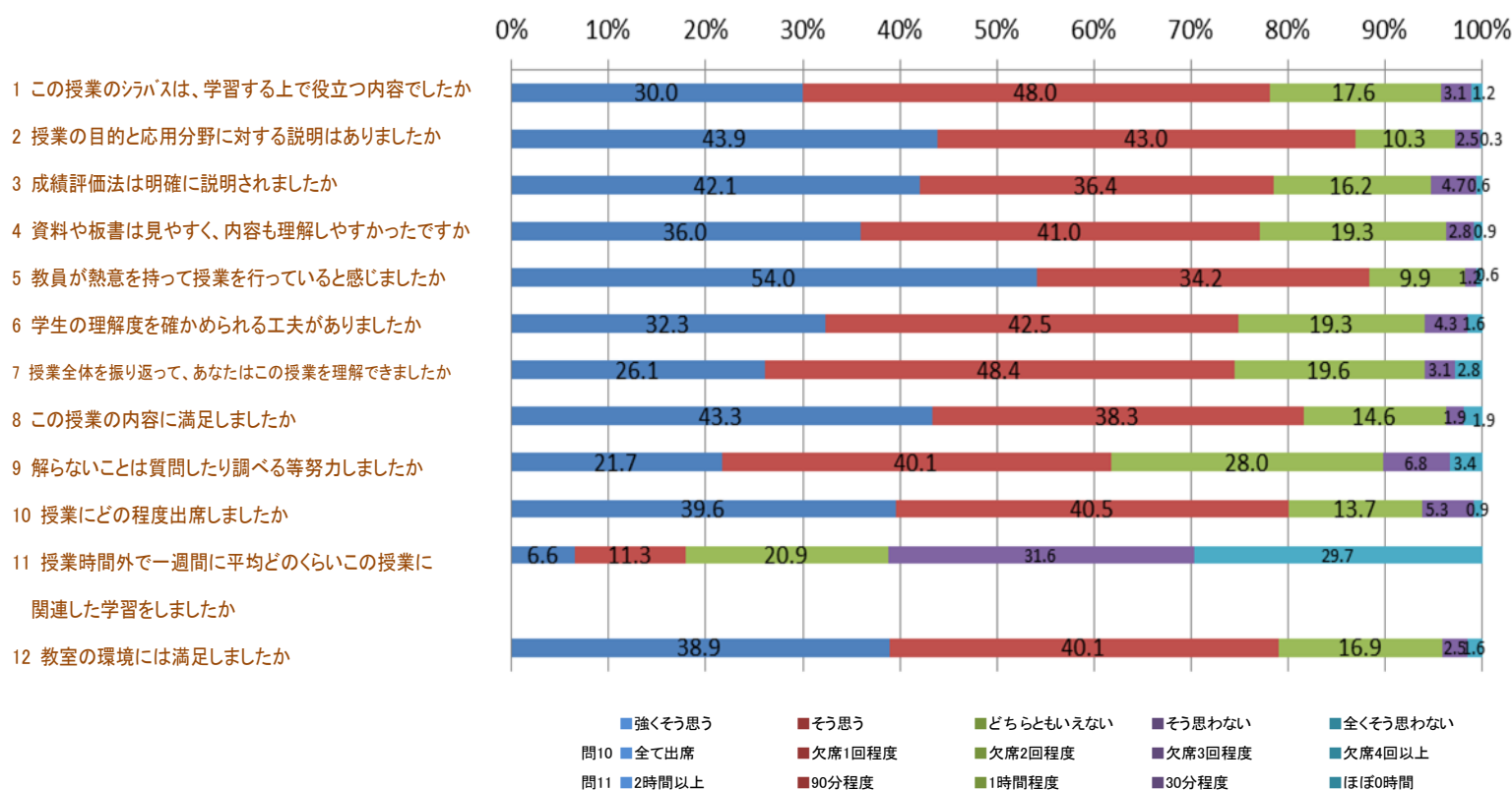
▶ 学生の皆さんから、こんな意見がありました

- ・前回の授業について学生が説明してくれるのは分かりやすかったので良いと感じた。
- ・毎回先生へ自分の考えを伝える時間があり、アドバイスをもらえるため非常に勉強になりました。
- ・中間テストをやるなら最初から伝えておいてほしかったと思う。
- ・受身の授業形式なので、もっと主体的にした方が良いと思う。
- ・板書と説明をもう少し丁寧にしていただけると、学生のモチベーションが上がると思います。

▶ 授業担当者からのコメント

- ・出席カードの裏に授業の感想や質問を自由に書いてもらい、質問に対しては次の授業の冒頭で回答した。
- ・理解度を自己確認できるよう毎回小テストを実施している。
- ・資料を配布し、授業中に記入しなければならない部分を意図的に作り、緊張感を保てる様にした。
- ・毎回小テスト・講義用スライドを PDF ファイルにして、Web 上で公開。学生が閲覧して、予習・復習可。
- ・学生が互いの成果(レポートなど)を評価し合うことで学生のメタ認知能力を向上。

システムデザイン研究科(対象授業科目数 35 のうち 26 科目からの回答)



▶ 学生の皆さんから、こんな意見がありました

- ・実際の映像とか実物を見せてくれたりというのが多かったので、直感的に分かりやすい印象にも残りやすかったのが良かった。
- ・頂いた資料の画像が見にくいものもありました。(グラフなど)スライドをもう少し大きく印刷するなどして頂けると見やすくなるかと思います。
- ・どのプリントの、どのページの説明をしているのかわからない時があります。
- ・椅子が硬く座りにくい。空調が送風になっていたのか、非常に寒かった。

▶ 授業担当者からのコメント

- ・発言を活発にするためグループ演習などを導入してもよいかと考えている。
- ・学生の理解度を知る工夫が不足した。

システムデザイン学部・研究科 FD 部会から

2015 年度後期アンケートにご協力頂き、ありがとうございました。各設問での回答に加えて、自由記述欄からは数字で表せない実態を得ることができています。アンケート結果は回答者個人の特定ができないような形に処理されたうえで、教員にフィードバックされ、教育状況の把握と授業改善の参考に利用されています。また、老朽化が進んでいた2号館3、4階のプロジェクター、オーディオ機器は、夏季休業期間に改修が行われました。今後とも、授業及び教室環境の改善のために、FD 活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

FD(ファカルティ ディベロップメント)とは

起源は米国にあり、日本では大学設置基準に「大学は授業の内容・方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする」との記載があり、これらの組織的な取組の総称がFDの定義とされています。

首都大学東京
システムデザイン学部・研究科 FD 部会
2016 年 6 月 17 日